

アスファルト混合物配合設計書

混合物名： 密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型

令和 8年 2月

クリーンアスコン

アスファルト混合物配合設計報告書

混合物の種類 密粒度キヤップアスコン(13)改質Ⅱ型

報告年月日 令和8年2月24日

使用プラント クリーンアスコン

配合設計者 石川 高弘

1. 使用材料の種類および産地

材料の種類	生産業者	生産地	材質等
6号砕石	坂田砕石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質砂岩
砕砂	坂田砕石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質砂岩
海砂	住若海運㈱	佐賀県唐津市	海砂
石粉	足立石灰工業㈱	岡山県新見市足立	石灰石粉
アスファルト	昭和瀝青工業㈱	レジフィックス	改質Ⅱ型

2. 骨材の配合割合(%)

材料の種類	6号砕石	砕砂	海砂	石粉					アスファルト	合計
室内配合率	55.0	17.5	17.5	10.0					—	100.0
比重補正後配合率										
AS含み	52.2	16.6	16.6	9.5					5.1	100.0

3. 混合物の合成粒度(%)

ふるい目	53.0	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	0.60	0.30	0.15	0.075	備考
合成粒度	100	100	100	100.0	100.0	99.7		46.4	43.6	23.1	15.2	11.9	9.9	
比重補正後														
粒度範囲					100 ～ 100	95 ～ 100		35 ～ 55	30 ～ 45	20 ～ 40	15 ～ 30	5 ～ 15	4 ～ 10	

4. 設計アスファルト量における混合物性状

項目	設計アスファルト量 (%)	理論密度 (g/cm3)	密度 (g/cm3)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100mm)	残留安定度 (%)	動的安定度 (回/mm)	備考
測定値	5.1	2.503	2.394	4.4	72.8	11.41	32	92.4	7000	突固め回数 50回
目標値	—	—	—	3 ～ 7	65 ～ 85	4.9 以上	20 ～ 40	75 以上	3000 以上	

5. 製造の温度

項目	AS加熱温度 (°C)	骨材加熱温度 (°C)	混合物温度 (°C)						備考
目標温度	175	185	175						

骨材試験成績表

調査名・目的		配合試験				報告年月日	令和8年2月24日		
混合物種類		密粒度キャップアスコン(13)改質Ⅱ型				報告者	石川 高弘		
試験項目		6号碎石	砕砂	海砂	石粉				
密度 (g/cm ³)	表乾	2.670	2.651	2.579	—				
	かさ	2.644	2.598	2.531	—				
	見掛	2.715	2.743	2.659	2.710				
吸水量(%)		0.98	2.03	1.89	—				
ロサンゼルスすりへり減量(%)		11.8	—	—	—				
安定性(%)		2.4	2.0	2.1	—				
軟石含有量(%)		1.2	—	—	—				
扁平または細長石片含有量(%)		1	—	—	—				
単位体積質量(kg/L)		1.56	1.70	1.55	—				
粘土・粘土塊含有量(%)		0.08	0.01	0.01	—				
		—	—	—					
	ふるい目の呼び寸法 (mm)	6号碎石	砕砂	海砂	石粉				
通過質量百分率 (%)	53.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	37.5	100.0	100.0	100.0	100.0				
	31.5	100.0	100.0	100.0	100.0				
	26.5	100.0	100.0	100.0	100.0				
	19.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	13.2	99.5	100.0	100.0	100.0				
	9.5								
	4.75	3.0	100.0	98.5	100.0				
	2.36		99.8	92.0	100.0				
	0.60		37.4	37.5	100.0				
	0.30		19.8	9.8	100.0				
	0.15		10.2	1.9	97.9				
0.075		5.7	0.6	88.0					

混合物の理論最大密度計算表

調査名・目的		配合試験		試験年月	令和8年2月24日	
混合物の種類		密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型		試験者	石川 高弘	
①	②	③			④	⑤
骨材の種類	骨材配合率 (%)	骨材の密度			計算に用いる密度	②/④
		表乾	かさ	見掛		
6号砕石	55.0	2.670	2.644	2.715	2.715	20.258
砕砂	17.5	2.651	2.598	2.743	2.743	6.380
海砂	17.5	2.579	2.531	2.659	2.659	6.581
石粉	10.0	—	—	2.710	2.710	3.690
						Σ⑤ 36.909
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
アスファルト量 (%)	アスファルト密度	⑥/⑦	$\Sigma ⑤(100-⑥)/100$	⑧+⑨	理論最大密度 $100/⑩$	
4.5	1.035	4.348	35.248	39.596	2.526	
5.0	1.035	4.831	35.064	39.895	2.507	
5.5	1.035	5.314	34.879	40.193	2.488	
6.0	1.035	5.797	34.694	40.491	2.470	
6.5	1.035	6.280	34.510	40.790	2.452	
5.1	1.035	4.928	35.027	39.955	2.503	
備考						

マーシャル安定度試験結果表（標準）

試料番号	混合物の種類	密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型	試験年月日	令和8年2月24日	
調査名・目的	配合設計	混合物の使用場所	試験者	石川 高弘	
バインダの種類	04改質Ⅱ型	バインダの密度A	1.035	混合温度	175 °C
突固め温度	160 °C	突固め回数	50 回	試験条件	標準

供試体 No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ ⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ ⑭	
	バインダ量 %	供試体厚さ cm	空中重量 g	水中重量 g	表乾重量 g	容積 cm ³	密度		バインダ容積 %	空隙率 %	骨材間隙率 %	飽和度 %	安定度試験	
							表か見	理					安定度 kN	フロー値 1/100cm
							乾さ掛	論						
							B=⑤-④ C=③-④	⑤③③ B B C			①*⑦/A	(1-⑦)/⑧)*100	⑨+⑩	⑨/⑩*100
1	4.5		1203.5	697.2	1206.7	509.5	2.362	2.526	10.3	6.6	16.9	60.9	9.98	26
2			1204.2	697.8	1206.3	508.5	2.368						10.40	25
3			1202.0	694.0	1205.5	511.5	2.350						10.64	24
平均値							2.360	2.526	10.3	6.6	16.9	60.9	10.34	25
1	5.0		1213.1	706.2	1215.7	509.5	2.381	2.507	11.5	4.7	16.2	71.0	11.59	30
2			1212.8	707.7	1215.6	507.9	2.388						11.59	27
3			1212.9	710.9	1216.1	505.2	2.401						11.02	33
平均値							2.390	2.507	11.5	4.7	16.2	71.0	11.40	30
1	5.5		1215.5	715.1	1219.0	503.9	2.412	2.488	12.8	3.1	15.9	80.5	11.44	32
2			1215.2	714.4	1218.2	503.8	2.412						11.71	35
3			1216.1	714.7	1218.9	504.2	2.412						12.19	35
平均値							2.412	2.488	12.8	3.1	15.9	80.5	11.78	34
1	6.0		1226.2	721.7	1228.8	507.1	2.418	2.470	14.0	2.3	16.3	85.9	11.67	37
2			1223.8	719.7	1226.7	507.0	2.414						11.45	34
3			1221.3	715.9	1223.9	508.0	2.404						11.83	37
平均値							2.412	2.470	14.0	2.3	16.3	85.9	11.65	36
1	6.5		1232.8	723.4	1234.9	511.5	2.410	2.452	15.1	2.1	17.2	87.8	10.88	44
2			1232.4	721.3	1233.9	512.6	2.404						10.89	43
3			1229.7	716.8	1231.5	514.7	2.389						11.89	36
平均値							2.401	2.452	15.1	2.1	17.2	87.8	11.22	41

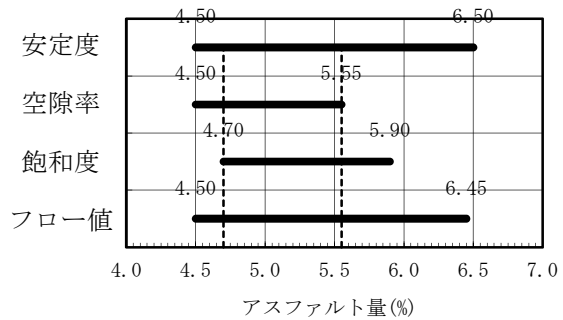
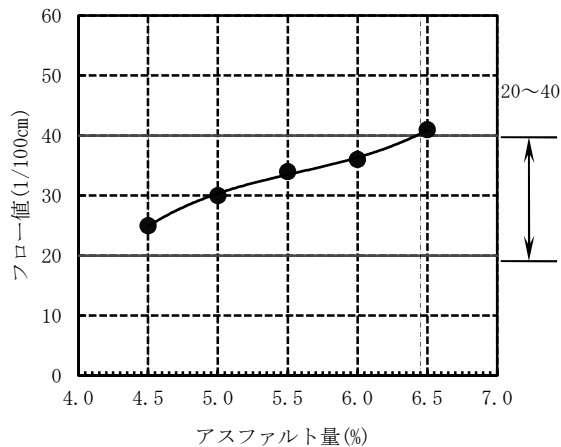
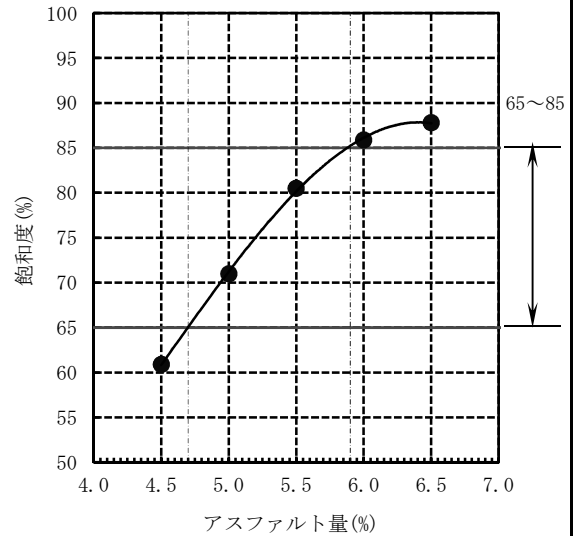
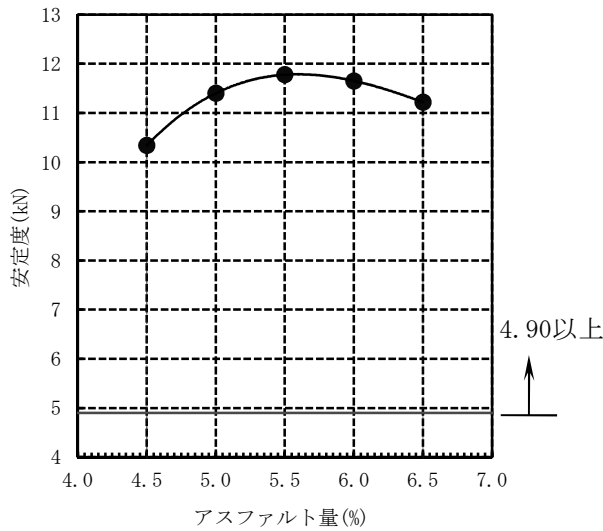
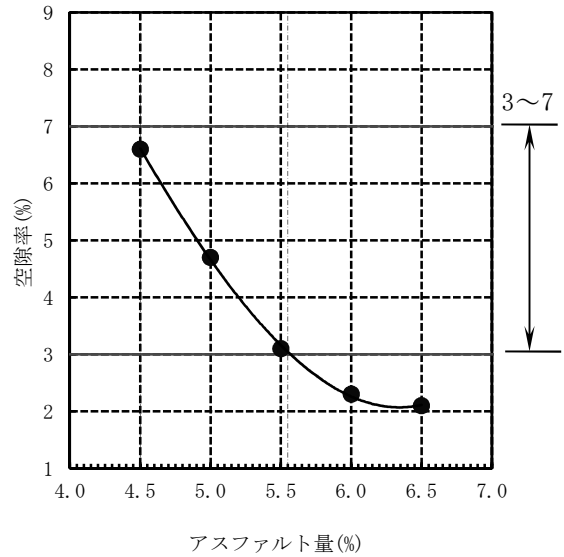
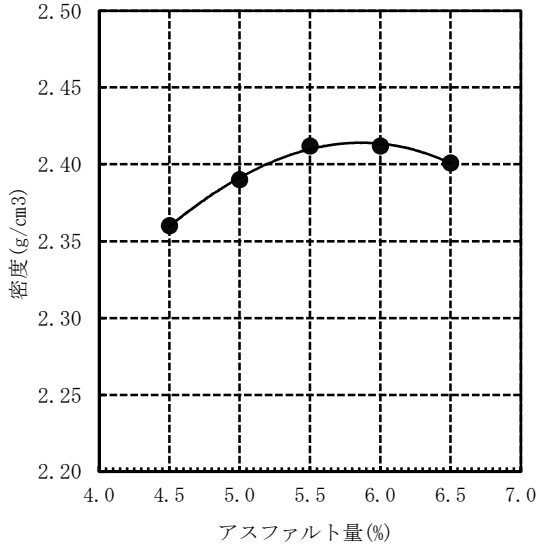
マーシャル安定度試験結果図

調査名・目的 配合試験

試験年月日 令和8年2月24日

混合物の種類 密粒度キヤップアスコン(13)改質II型

試験者 石川 高弘



共通範囲 4.70 ~ 5.55 %

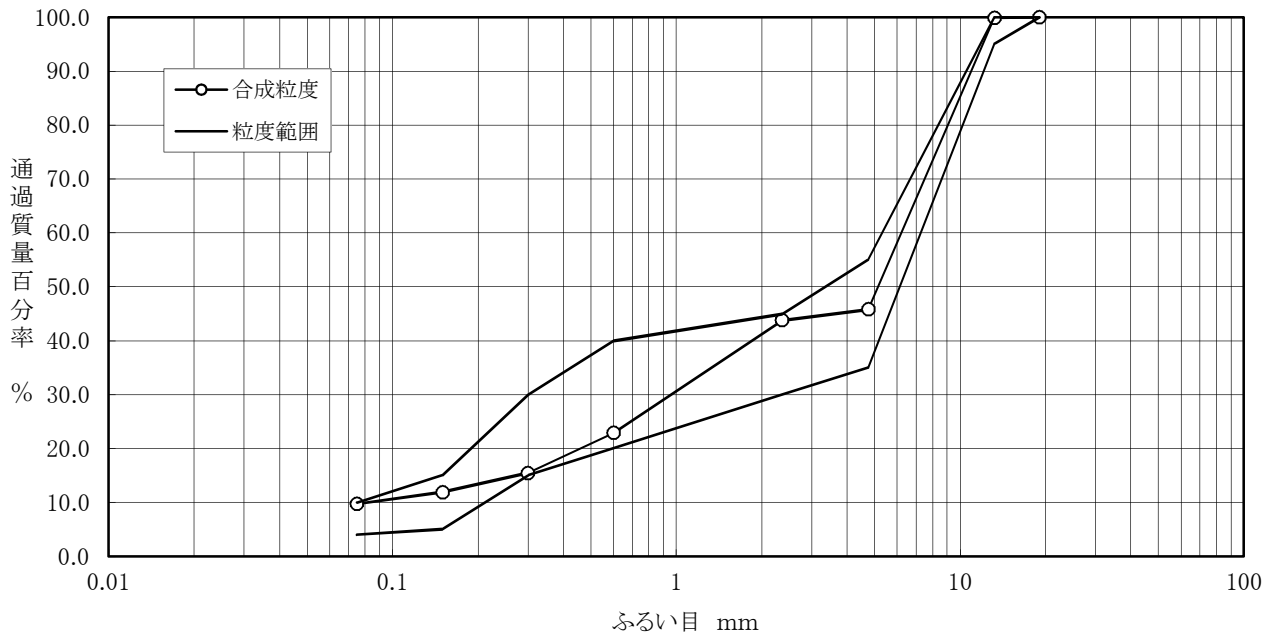
最適アスファルト量 5.1 %

	アスファルト混合物の粒度設定 (配合率の決定)	加熱骨材
--	-------------------------	------

調査名・目的	現場配合(ホットビン)	試験年月日	令和8年2月24日
混合物種類	密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型	計算者	石川 高弘

骨材種類	3ピン	2ピン	1ピン					石粉	各骨材ふるい目配合別配合率%						合成粒度	粒度範囲			
	合成粒度	54.5		35.5				10.0	3ピン	2ピン	1ピン						石粉		
通過重量百分率%	53.0																		
	37.5																		
	31.5																		
	26.5																		
	19.0	100.0		100.0				100.0	54.5		35.5				10.0	100.0	100 ~	100	
	13.2	99.8		100.0				100.0	54.4		35.5				10.0	99.9	95 ~	100	
	9.5																		
	4.75	0.9		99.4				100.0	0.5		35.3				10.0	45.8	35 ~	55	
	2.36			95.3				100.0			33.8				10.0	43.8	30 ~	45	
	0.60			36.4				100.0			12.9				10.0	22.9	20 ~	40	
	0.30			15.5				100.0			5.5				10.0	15.5	15 ~	30	
	0.15			6.0				97.9			2.1				9.8	11.9	5 ~	15	
0.075			2.5				88.0			0.9				8.8	9.7	4 ~	10		
骨材比重								合計											
骨材配合率×比重																			
補正後配合率(%)																			

合成粒度曲線図



現場配合の決定

目的 配合試験 試験年月日 令和8年2月24日

混合物の種類 密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型 試験者 石川 高弘

1.現場配合割合 1バッチ 1000 kg

	骨材配合比 (%)	設計アスファルト量 (%)	プラント配合比 (%)	1バッチ重量 (kg)	骨材累加重量 (kg)
4 ビ ン					
3 ビ ン	54.5		51.7	517.0	517.0
2 ビ ン					
1 ビ ン	35.5		33.7	337.0	854.0
石 粉	10.0		9.5	95.0	95.0
アスファルト		5.10	5.10	51.0	51.0
合計	100.0		100.0	1000.0	1000.0

2.混合温度 アスファルト製造業者の提示する条件の範囲の中から選ぶならば
165 °C ~ 180 °Cとなるが、舗装時期、運搬距離等を
 考慮して混合温度(指定温度)を 175 °Cとする。

3.骨材加熱温度 混合温度より 10 °C高くし 185 °Cとする。

4.アスファルト加熱温度 混合温度と同じ 175 °Cとする。

5.初期転圧温度 転圧温度は、マーシャル試験最適締固め温度の
 範囲より選び 160 °Cとする。

ホイールトラッキング試験

調査名・目的 クリーンアスコン 配合試験 試験年月日 令和8年2月24日

混合物の種類 密粒度ギャップアスコン(13)改質Ⅱ型 試験者 石川 高弘

混合物の基準密度 2.394 g/cm³ ハイター量 5.1 %

供試体の作製場所 1. 室内 2. 現場 3. 現場切取 換算係数C2= 1.0

試験条件 上載荷重 70 kg 60℃接地圧 6.3 kgf/cm²

試験温度 60 °C 走行回数 2520 回

走行方式 1. クランク式 2. チェーン式 換算係数C1= 1.0

供試体のNo.		1	2	3	平均
① 供試体の密度 (g/cm ³)		2.394	2.390	2.392	
② 供試体の締固め度 (%)		100.0	99.8	99.9	99.9
変形量(mm)	③ d30	1.05	1.08	1.14	
	④ d45	1.14	1.16	1.26	
	⑤ d60	1.23	1.26	1.35	
⑥ 変形量の差 (mm)	⑤-④	0.09	0.10	0.09	⑦ 0.09
⑧ 動的安定度 (DS) (回/mm)	15/⑥×42×C1×C2	7000	6300	7000	
⑨ 平均動的安定度	15/⑦×42×C1×C2	/			⑨ 7000
⑩ 平均値との差の平方	(⑨-⑧) ²	0	490000	0	
⑪ 標準偏差	$\sqrt{(\sum ⑩ / (n-1))}$	/			⑪ 495
⑫ 変動係数 (%)	⑪/⑨	/			7.1
圧密変形量 (mm)	d0	0.87	0.86	0.99	
時間変形曲線の形状		上凸型	上凸型	上凸型	

備考

供試体寸法 : 30cm×30cm×5cm

試験輪走行速度 : 42回±1回/分

試験輪走行距離 : 23cm±1cm

供試体養生条件 : 試験開始前5時間以上24時間以内

DS値の変動係数は20%以下